

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名：（１）工事コストの低減 技術開発の推進 】

積木型枠ブロック工法の採用によるコスト縮減

工事名：網走港 防波堤外一連工事

概要：防波堤の本体工に使用する水中コンクリート用型枠を、従来の鋼製型枠に変えて脱型不要の積木型枠ブロック（コンクリート製の二次製品）を用いた。

効果 従来の鋼製型枠と比べ脱型作業が不要なため、省力化及び工期短縮が可能となる。

本工事においては、水中コンクリートの打設規模が大きかったため、従来の鋼製型枠にかかる供用損料に比べ、コスト縮減が可能となった。

水中コンクリート工事費を、101百万円から88百万円に縮減。

【縮減額 13百万円、縮減率 約13%（工事費全体では約4%縮減）】

従来工法（鋼製型枠）



・型枠を作業ヤードで組立、現地に設置し、コンクリートを打設後、型枠を外す（脱型）作業が必要



積木型枠ブロック工法



・積木型枠ブロックを作業ヤードで組立、現地に設置し、コンクリートを打設して完了



・型枠不要
・脱型不要